

お客さま本位の業務運営に関する取組状況

「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」に基づいて、下記のとおり成果指標(KPI)を公表いたします。

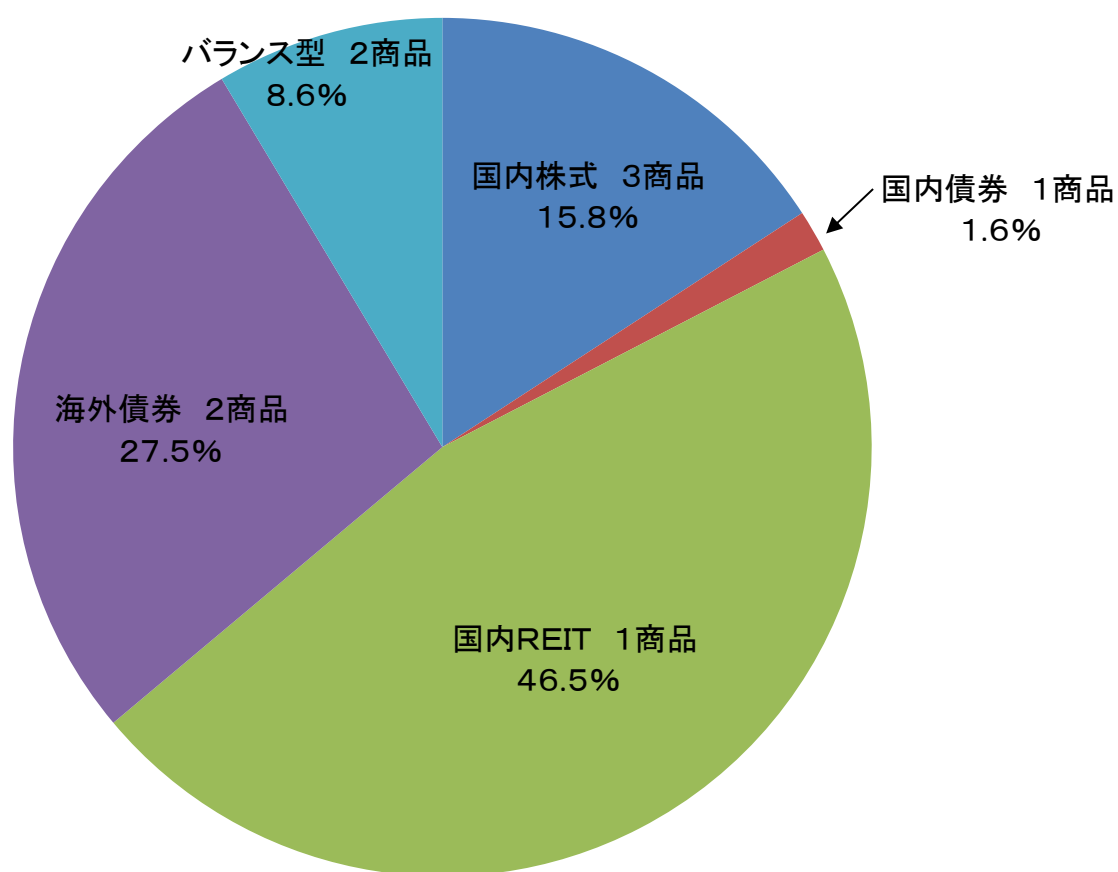
館林信用金庫

2021年3月末現在

① 投資信託の取扱状況(共通KPI)

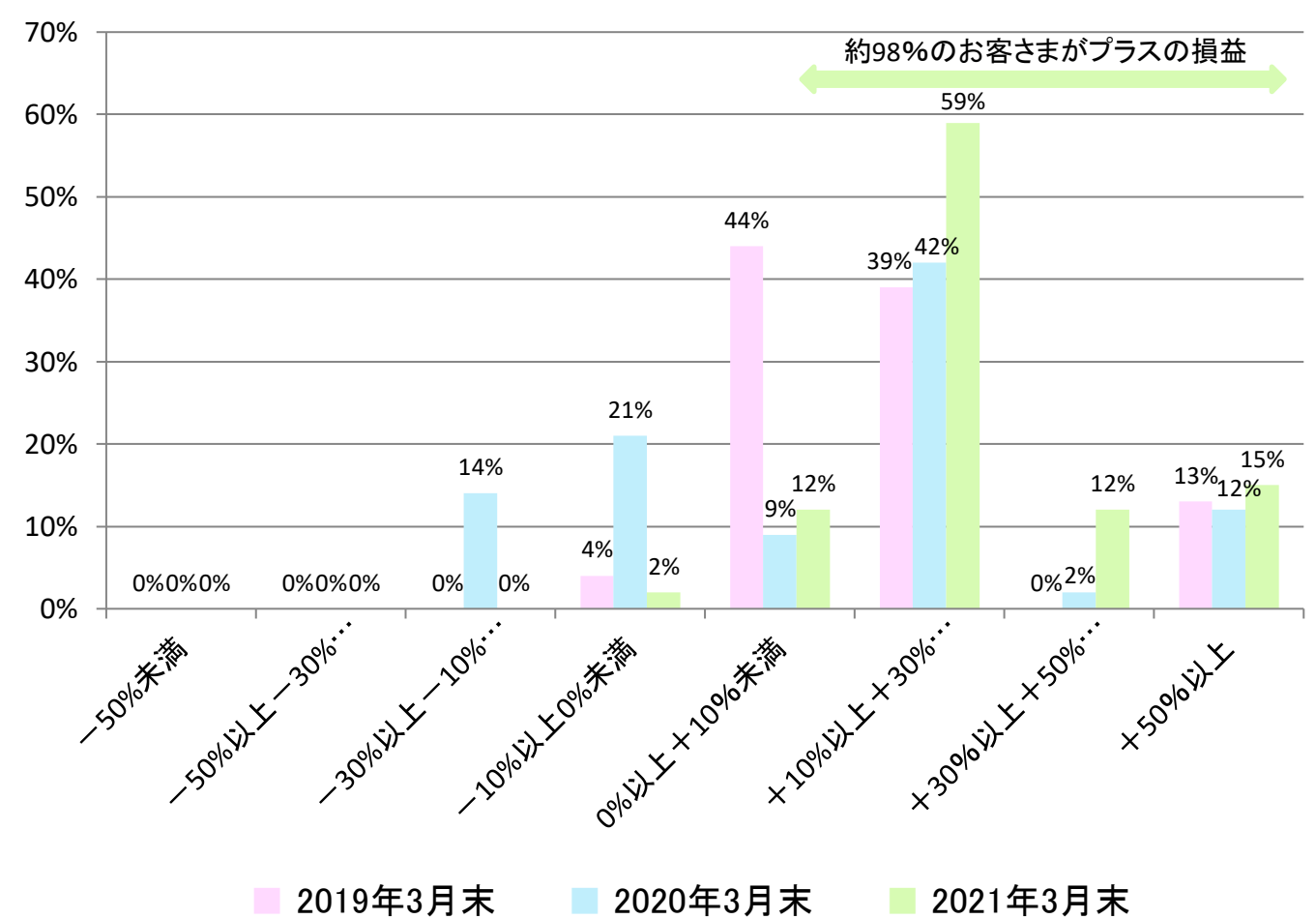
順位	主な投資対象	ファンド名	販売額(単位:千円)	販売額構成比	コスト	リスク	リターン
1位	国内REIT	しんきんJリートオープン(毎月決算型)	136,115	46.5%	1.49%	13.73%	3.55%
2位	海外債券	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	56,335	19.2%	1.71%	4.86%	0.97%
3位	国内株式	しんきんインデックスファンド225	32,844	11.2%	0.88%	16.54%	12.90%
4位	海外債券	DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)	24,169	8.3%	1.54%	7.13%	1.76%
5位	バランス型	しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型)	22,735	7.8%	1.60%	10.60%	4.23%
6位	国内株式	ニッセイ日本勝ち組ファンド(3ヵ月決算型)	6,923	2.4%	1.54%	17.22%	9.15%
7位	国内株式	トヨタ自動車/トヨタグループ株式ファンド	6,528	2.2%	1.09%	22.00%	9.24%
8位	国内債券	しんきん公共債ファンド	4,600	1.6%	0.66%	0.72%	-0.41%
9位	バランス型	ダイワ資産分散インカムオープン(奇数月決算型)	2,413	0.8%	1.84%	7.10%	2.95%
合計(販売額・販売額構成比)・残高加重平均値(コスト・リスク・リターン)			292,666	100.0%	1.49%	10.89%	3.04%

② 投資信託の商品種類別販売額の構成比と取扱数(自主的なKPI)

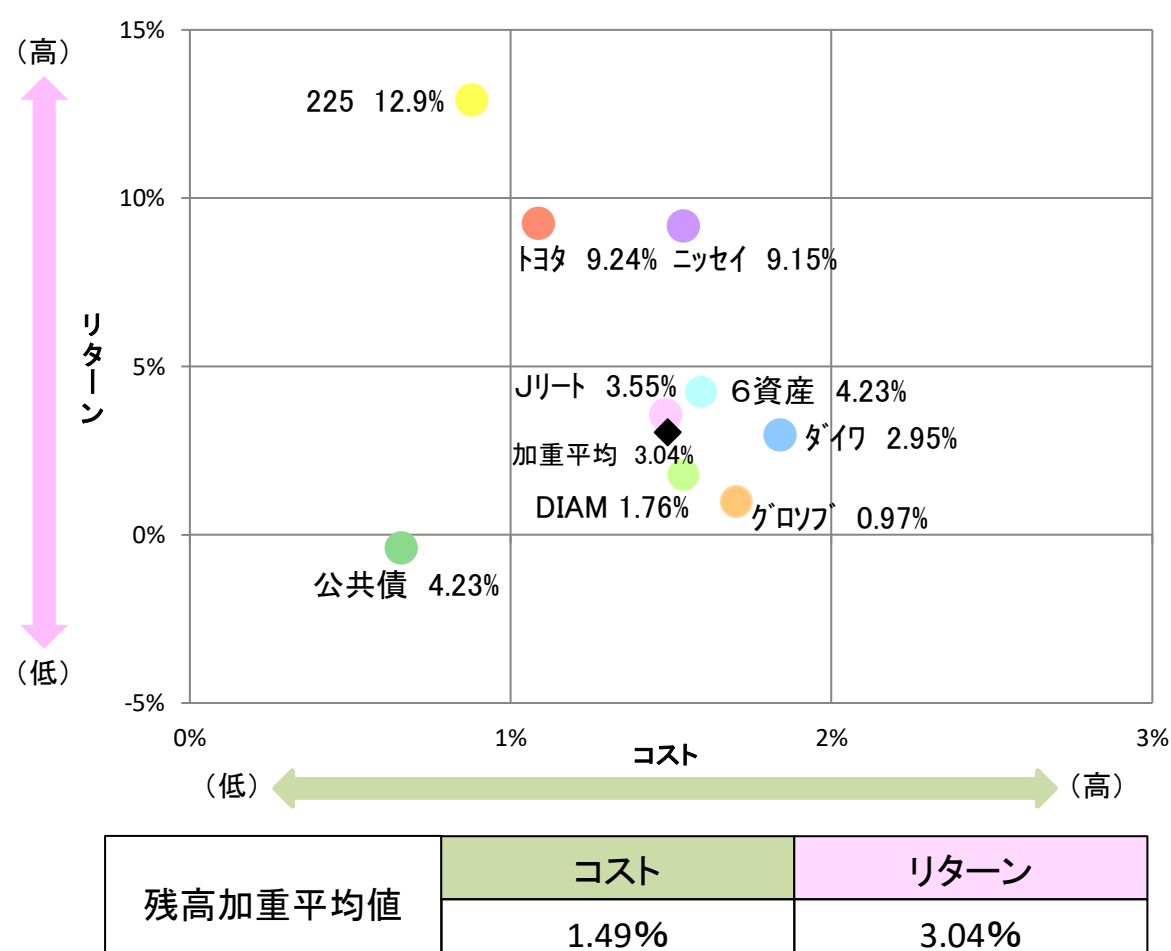


③ 投資信託の運用損益別顧客比率(共通KPI)

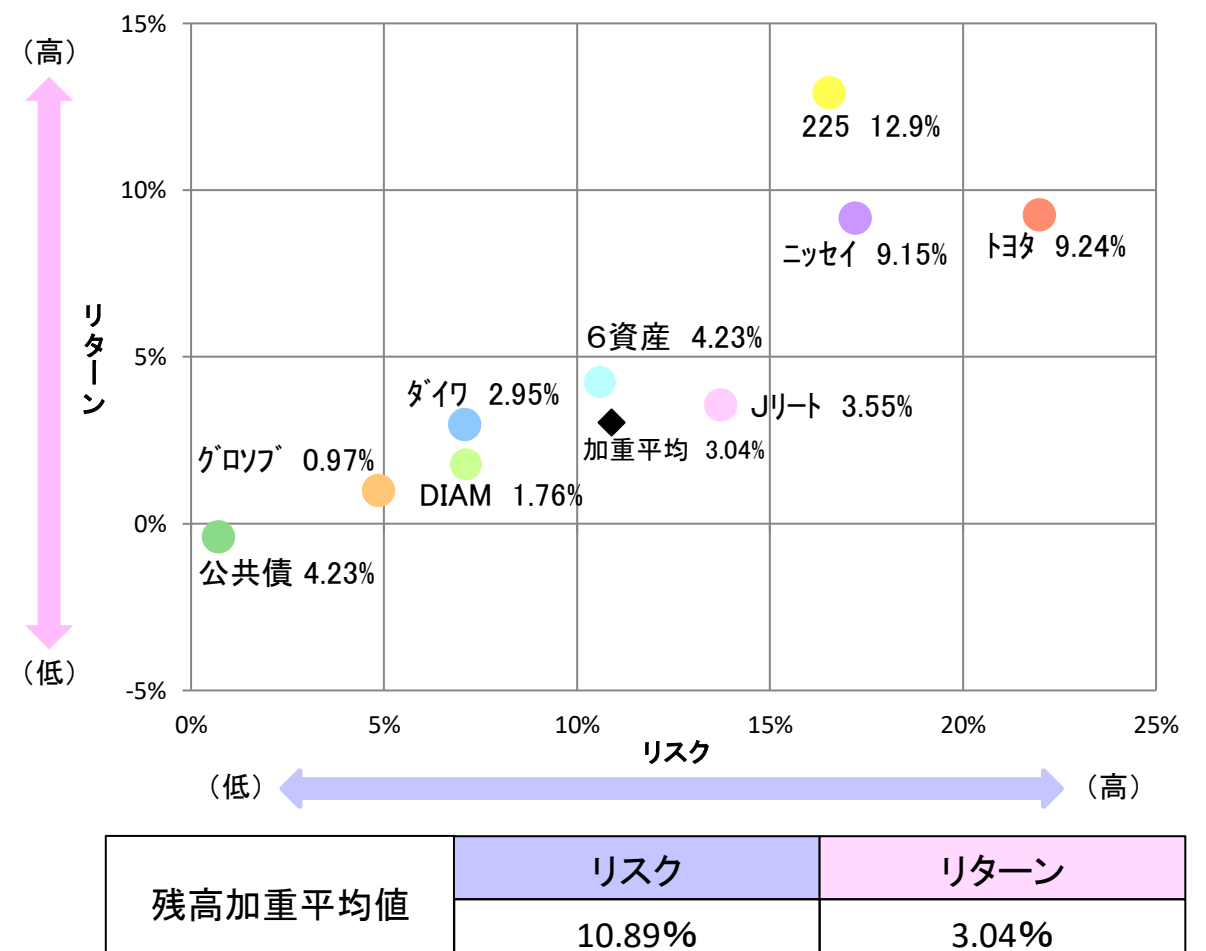
※ お客さまの投資信託の損益状況をグラフにしたものです。



④ 投資信託のコストとリターン(共通KPI)



⑤ 投資信託のリスクとリターン(共通KPI)



○ 昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い、基準価額が大幅に下落しましたが、今年度に入り徐々に回復し、取り扱いをしている投資信託のうち7ファンド(全9ファンド)が、リターンがコストを上回る状況です。

(注1) 表中の%は、各投資信託のコストに対するリターンを表示しております。
 (注2) コストは、販売手数料率(税込)の1/5と信託報酬率(税込)の合計値。
 (注3) リターンは、過去5年間のトータルリターン(年率換算)。

○ 投資信託のリスクは前年度(10.55%)とほぼ変化なく、リターンは前年度(-0.55%)に比べ大幅に改善しました。

(注1) 表中の%は、各投資信託のリスクに対するリターンを表示しております。
 (注2) リスクは、過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算)。
 (注3) リターンは、過去5年間のトータルリターン(年率換算)。